

2019年3月5日

岡山理科大学 平成31年度採用教員 各位

研究・社会連携室

OUS 研究者ナビゲーターの原稿提出のご依頼について

拝啓 時下ますますご清祥のこと、お慶び申し上げます。

岡山理科大学では、研究を推進すると共に、開かれた大学として地方公共団体、産業界等と連携して地域社会の発展に寄与するため、民間企業を始めとした外部機関に向けて、本学教員の研究内容をわかりやすくまとめて紹介した、日本語と英語の「OUS 研究者ナビゲーター」の冊子発行及びWEB版の公開をおこなっております。平成31年度については、WEB版の公開を予定しています。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、WEB版の日本語及び英語のテンプレートを御送りいたしますので、作成いただき、ご提出をお願いいたします。

記

- 【原稿作成】 : HPをご参考に、作成をお願いします。  
なお、テンプレート日本語バージョンには、電話番号・メールアドレスの記載箇所がありますが、  
こちらは記入せずに（このまま）ご提出ください。  
※以下のHPから現教員の内容をご確認いただけます。  
（日本語）<http://renkei.office.ous.ac.jp/ousresnavi/>  
（英語）[http://renkei.office.ous.ac.jp/ousresnavi\\_english/](http://renkei.office.ous.ac.jp/ousresnavi_english/)
- 【様式】 : 岡山理科大学研究・社会連携室ホームページ「ニュース」よりダウンロード  
【ダウンロード先アドレス】  
<http://renkei.office.ous.ac.jp/>
- 【提出予定期限】 : 4月4日（木）  
原稿をメールにてお送りください。  
提出先 : [renkei@office.ous.ac.jp](mailto:renkei@office.ous.ac.jp)
- 【提出メール件名】 : ナビ（採用年度）氏名  

例 : ナビ（31）岡山 理太郎
------------------
- 【問合せ先】 : 研究・社会連携室（A1号館1階）  
TEL : 086-256-9731（担当：太田・藤原俊明）

# 【OUS研究者ナビゲーター】（日本語）WEB版

岡山理科大学 研究・社会連携室  
 研究支援・ご相談等、お気軽にお問い合わせください。

岡山理科大学 HOME | 研究・社会連携室とは | お問い合わせ | サイトマップ

HOME | 産学官金連携 | 研究支援・外部資金獲得 | 地域貢献 | 知的財産管理 | 研究シーズ情報発信

研究・社会連携室TOP > OUS研究者ナビゲーター

OUS研究者ナビゲーター next 50

ご意見・ご要望・お問い合わせは岡山理科大学研究・社会連携室へお気軽にご連絡ください。  
 TEL.086-256-9731 FAX.086-256-9732  
 renkei@office.ous.ac.jp

名前・研究分野・テーマ

理学部 | 工学部 | 総合情報学部 | 生物地球学部 | 教育学部 | 経営学部 | 附属施設等

応用数学科 | 化学科 | 応用物理学科 | 基礎理学科 | 生物化学科

臨床生命学科 | 動物学科

理学部 > 動物学科

**動物学科**

動物学・基礎生物学の伝統に基き、人間社会と自然の調和を図り、多様な応用を遂げる動物学初級研究・教育を行う。また、野生動物系の動物系統分類学、生態学、生理学、古脊椎動物学および固有動物系の鳥獣動物学、動物行動学、動物遺伝学、動物保全有様学などを教授することにより社会に貢献することを旨とする。

教授 <b>愛甲 博美</b> 研究分野 動物行動学、動物環境学、公衆衛生学 キーワード 水根、アルツハイマー症、動物生態	教授 <b>浅田 伸彦</b> 研究分野 集団遺伝学、分子進化学 キーワード フェノール酸化酵素、チロシナーゼ
研究テーマ <input checked="" type="checkbox"/> 生体内水銀の体外排泄 <input checked="" type="checkbox"/> AI投与後の尿中AIとCoa量の研究 <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の行動と生態	研究テーマ <input checked="" type="checkbox"/> “進化の谷”におけるショウジョウバエの分子進化

教授 <b>岡本 弥彦</b>	教授 <b>清水 慶子</b>	教授 <b>高崎 浩幸</b>
-----------------	-----------------	-----------------

## 理学部【動物学科】

教授 **清水 慶子**

**研究分野** 生殖内分泌学、神経内分泌学、動物生理学

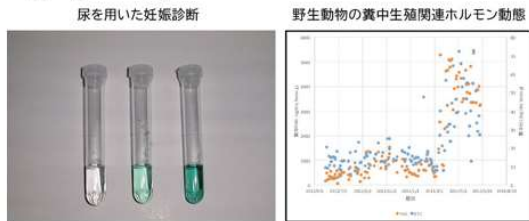
**キーワード** ホルモン、フェロモン、性腺、脳、性行動

研究 テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 非侵襲的ホルモン測定法開発
	<input checked="" type="checkbox"/> 有害鳥獣個体数調整法の開発
	<input checked="" type="checkbox"/> 脳の性分化機構
	<input checked="" type="checkbox"/> 性を司る脳およびホルモン

### 研究活動の概要

野生動物や動物園動物等の生殖関連ホルモン動態や性行動を検討し、希少動物の人工繁殖に向けた取り組みを行っています。実際には性周期の確認、排卵予知、早期妊娠診断法の開発を行っています。また、これらの成果を応用して有害鳥獣対策として非侵襲的個体数調整法の確立を行っています。

霊長類の脳の性分化機構や妊娠期におけるホルモン動態を調べ、性同一性障害、自閉症、ADHDなどの発達障害の発現機構への関与を調べています。



尿を用いた妊娠診断

野生動物の糞中生殖関連ホルモン動態

左から(非妊娠)(妊娠)(妊娠)

希望する連携内容

- ホルモン測定法開発
- 鳥獣害対策の検討
- 希少動物繁殖
- 唾液・糞尿を用いたホルモン測定 など